

◆ 平成28年度 活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 食品リサイクル農園あさか

19A-19

代表者：代表 野口久美子

URL :

1. 活動が必要とされた状況

家庭排出ゴミの約40%を占めている生ごみは殆どが焼却されている。生ごみを堆肥化し資源として活用すれば、廃棄物処理費用削減の他、環境負荷の軽減、豊かな土壌・緑の保全等、環境保全効果大である。又、生ごみの資源化は市民が直接すぐに取り組める課題である。まず自ら実践実証し全市民が参加する循環型社会構築が急がれる状況である。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

生ごみ・落葉等を拠点の畑へ持寄り堆肥を作製、使用し、共同作業で、無農薬、有機野菜を作っています。会員自ら生ごみ減量資源化、豊かな土壌、美味しく安全な野菜作りをし、小さな循環型社会構築を実践しています。啓発活動として、畑で体験学習、室内で講演会、展示会を実施。他団体との交流を深め、活動の普及、賛同者・協力者の増加を図り、行政との協働を進め、活動の拡大を図っています。

内容	実施期間	参加人数会員・参加者	活動実績
生ごみ持寄り	通年	8名/月×12月	2.2t
生ごみ落葉等堆肥化	11月～1月	参加部署5	3.7t
有機野菜作り	毎水・土曜	延400人/年	
なかよし体験講座	毎月・金曜	延550人/年	
年間栽培講座	通年	延50人 / 4組	
ジャガ芋・里芋講座	3月～11月	延110人	
花まつりうどん店	4月	延30人/2日	652杯



<なかよしネットメンバーさん>

3. 活動の成果

生ごみ・落葉等計5.9tの焼却ごみ減量に寄与しました。

又、ジャガ芋・里芋3回講座の他年間栽培講座を開催秋の収穫祭ではBBQを実施、生ごみ堆肥を活かした有機野菜を実食体験をすると共に次に繋がる会員・ボランティア予備軍を見込む事ができました。恒例の花祭りうどん店の出店、福祉NPO法人なかよしネットの農園芸療法体験年間講座、市民活動祭りでの有機野菜販売を通しての啓発活動等も資金自立に向けての柱となって参りました。



4. 今後に残された課題

会員数11名と前年より3名減ながら、畑作業実働会員・協力者が3名定着し、堆肥製造に関してはなかよしメンバーが実働化し作業環境はやや改善された。とは云え、実作業戦力会員の強化、資金自立の為にも会員増は必須であり、会員・ボランティア募集のPR強化に努めます。